

**青山学院大学大学院国際マネジメント研究科(青山ビジネススクール)が EY Japan と連携
2021年度に寄附講座「イノベーションと組織改革」を新開講**

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科(キャンパス:東京都渋谷区、研究科長:中里宗敬、通称:青山ビジネススクール、以下「ABS」)は、EY Japan(本社:東京都千代田区)と連携し、同社による寄附(講師提供)により、2021年度 MBA プログラムの科目に「イノベーションと組織改革」を新規開講します。

本講座の目的:

VUCA の時代と言われる今日、企業にとってイノベーションを生みだせる能力は、ますます重要になっています。イノベーションを継続的に生み出していくには、組織改革が不可欠です。

本講座では、EY Japan の松永達也氏(チーフ・イノベーション・オフィサー)を中心に、コンサルティングや監査、税務各部門のテクノロジーを活用した変革を推進している社内専門家ならびにスタートアップの若手起業家がオムニバス形式で講義を担当し、人工知能やブロックチェーン、IoT などの先進テクノロジーを活用した、ビジネスモデルの破壊的創造を生み出すイノベーションの実現、イノベーションを創出する組織への改革にむけた経営人材を養成します。

寄附講座の名称: 「イノベーションと組織改革」

開講場所: 青山学院大学 青山キャンパス

開講期間: 2021年度前期(2021年4月~2021年7月) 全15回

講師: 松永達也氏(EY Japan チーフ・イノベーション・オフィサー)

講師プロフィール

別紙1

本講座の具体的な内容

別紙2

別紙1. 講師プロフィール



松永達也

EY Japan チーフ・イノベーション・オフィサー

EY Japan チーフ・イノベーション・オフィサーならびに、コンサルティングパートナーとしてデータアナリティクスおよびデジタル&エマージングテクノロジーチームにてリーダーを務める。

4 サービスラインを横断するイノベーション CoE として、wavespace や開発専門組織「クライアント・テクノロジー・ハブ」の活動を推進し、クライアント企業のテクノロジーを活用したデジタル化や新規事業開発を支援。

前職では、大手外資系 IT 企業にて、常務執行役員としてコグニティブ・ソリューション担当、金融事業メガバンクグループ担当、人事担当などを歴任。

慶應義塾大学大学院経営管理研究科卒業(MBA)

別紙2. 本講座の具体的な内容(2021 年度シラバスより抜粋)

1. 講座の目的

人工知能やブロックチェーン、IoT 等の先進テクノロジーを活用した、組織の生産性向上やビジネスモデルの変革を実践している事例と、それを実現する組織・人事面での施策について、知識を習得する。これらの知識をもとに、創造的破壊 (Disruption) をうみだすイノベーションを企画し、イノベーションを創出する組織への変革計画を策定するための、コンサルタントレベルの能力を習得する。

2. 授業計画(予定)

第1回	本講義の内容と目指すもの
第2回	テクノロジーによる Distruption
第3回	Data Science の目指すもの
第4回	ダイナミック RegTech が加速するデジタルトランスフォーメーション
第5回	デジタル時代のタックステクノロジー
第6回	AI テクノロジーと監査業務の未来
第7回	中間まとめ
第8回	会計監査 DX による組織改革
第9回	イノベーションを創出する組織
第10回	イノベーションをもたらす、ダイバーシティとインクルーシブネス
第11回	イノベーションと起業家精神
第12回	グループワークのガイダンス
第13回	グループワーク
第14回	グループ発表
第15回	総括、この授業の学びのまとめ

(参考資料)

研究科概要

ABS は 1990 年に設立し、社会人が学ぶ専門職大学院のビジネススクールとしては、日本で最も長い歴史を持っています。『社会的責任を果たし、地球市民として活動する創造的リーダーの養成と、時代をリードする研究活動を通して、豊かな未来を切り拓くことに貢献する』というミッションを掲げ、課題の発見・解決に向け、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力をもつ人材の育成を目指しています。

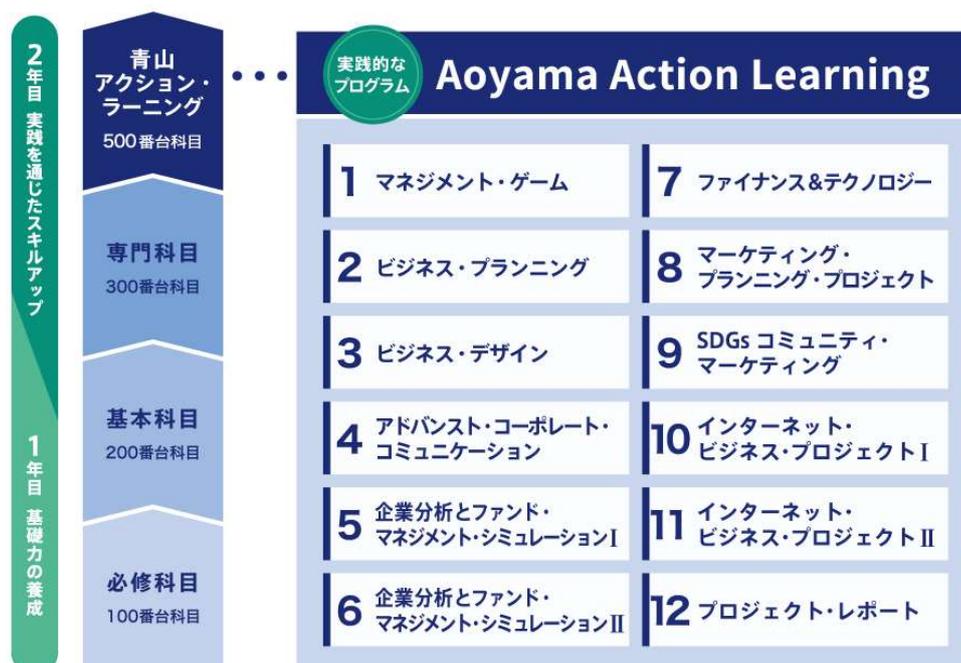
このような歴史と特徴を持つ ABS は、日本におけるビジネススクールの草分けとして、2,500 人以上の MBA ホルダーを世に送り出しており、修了生は実業界のさまざまな分野で活躍しています。

■MBA プログラム

平日昼間履修の「デイトムコース」と、企業等組織に勤務する職業人を対象にした平日夜間と土曜日履修の「イブニングコース」により構成されています。

■特徴的な取組

日本の多くのビジネススクールでは修了するために修士論文が求められます。ABS では、海外のビジネススクールのスタンダードに合わせ、修士論文を修了要件から外し、海外ビジネススクールや産業界との連携によって開発した科目『青山アクション・ラーニング』を設置しています。これは 2 年間の学習の総仕上げとして体系的に学び、知識を定着させて修了後の実務に活かすことを目的とした実践的な科目です。



(青山アクション・ラーニングイメージ図)科目は2020年度設置のもの

■主な学生データ(2020 年入学者のデータ)

- ・男女比率＝イブニングコース学生(男性 73%:女性 27%)、デイトムコース学生(男性 46%:女性 54%)、
- ・平均年齢＝イブニングコース学生 37.9 歳、デイトムコース学生 25.3 歳、
- ・イブニングコース学生の所属業界＝情報・通信、サービス、医薬品、電気機器、小売業など

■その他詳細は ABS の HP をご覧ください。

<https://www.aoyamabs.jp/>